

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

宮城県 川南町

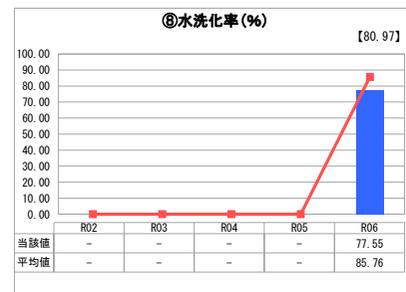
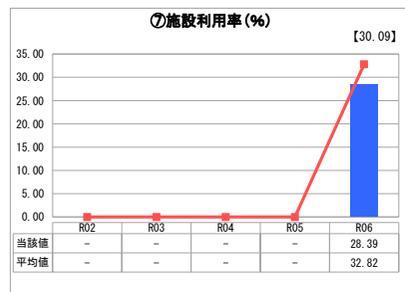
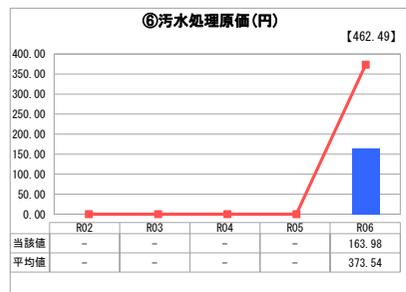
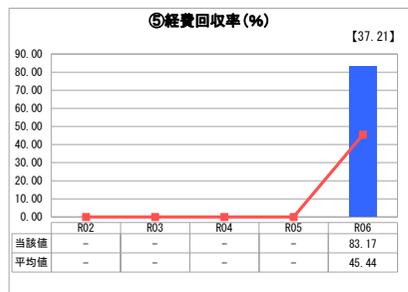
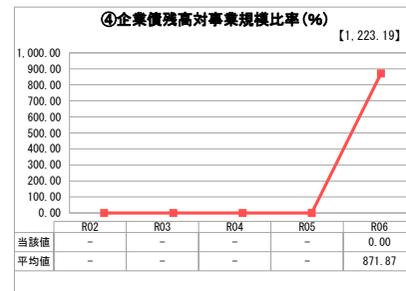
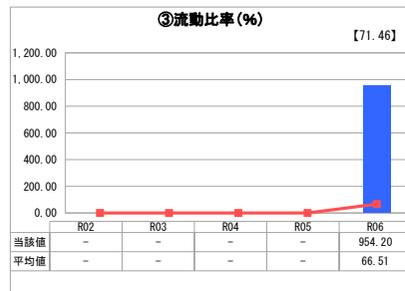
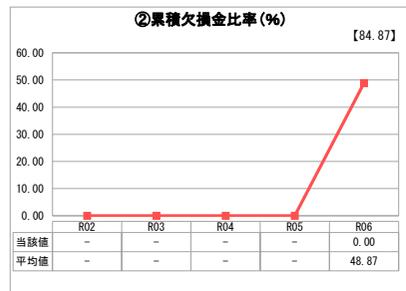
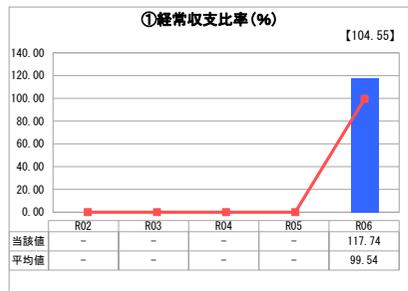
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	漁業集落排水	H1	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金 (円)
-	99.19	5.30	86.96	2,750

人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
14,617	90.13	162.18
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
766	0.18	4,255.56

**グラフ凡例**

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

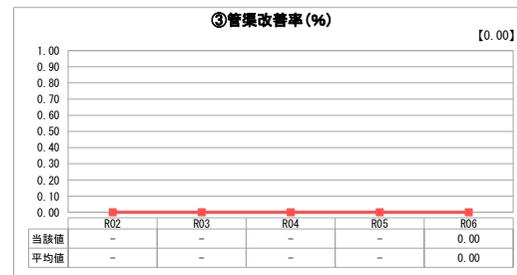
○経営の健全性  
 経常収支比率は、117.74%と全国平均を上回っています。  
 累積欠損金比率は、0%となっています。  
 流動比率は、954.20%となっており、現金が十分に確保されていることを示しています。  
 企業債残高対事業規模比率は、新規借入を行っていないため0%となっています。  
 経費回収率は、83.17%となっており、使用料収入で汚水処理費用を賅っていないことを示しています。  
 経営の健全性に関する指標については、概ね良好であることを示しています。

○経営の効率性  
 汚水処理原価は、163.98%となっています。  
 施設利用率は、28.39%となっており、施設能力に余力があることを示しています。  
 水洗化率は、77.55%と全国平均を大きく下回っているため、加入促進を図る必要があります。  
 経営の効率性が良いとは言えないため、改善を図る必要がありますが、人口減少が著しい集落であるため厳しい状況です。

### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、令和6年度から法適用化を行ったため5.65%となっています。  
 管渠老朽化率は、0%となっており、老朽化が進んでいないことを示しています。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

経営の健全性は担保されていますが、経費回収率が低く、一般会計からの繰入金に依存しているため、使用料改定を検討し、より健全性を高める必要があります。  
 老朽化は進んでいませんが、計画的な維持修繕及び施設更新を行う必要があります。  
 前述のとおり、人口減少の著しい集落であるため、施設のダウンサイジングも含めて検討していく必要があります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。